

緑ヶ丘だより
2024年度 第2号
緑ヶ丘地区社会福祉協議会便り
2024（令和6）年度 第2号

合併号

発行日：2024年12月1日
発行元：緑ヶ丘地区自治会連合会
（緑ヶ丘地区自連）
発行元：緑ヶ丘地区社会福祉協議会
（緑ヶ丘地区社協）
通算：第22号

今回は、緑ヶ丘地区自連が発行している【緑ヶ丘だより】と緑ヶ丘地区社協が発行している【地区社協便り】を合併して緑ヶ丘地区全体の催しについてお届けします。

かにが沢盆踊り

去る8月24日に、準備に準備を重ねて、かにが沢盆踊りを開催しました。当日は天気も良く、暑い中、午前中から準備。いよいよ本番開始の15時から20時までの間、絶えることない来場者で賑わいました。子ども盆踊りでは、ぬいぐるみが大好評。盆踊りが始まると、最初はもじもじして輪の中に入らなかった外国人の方も、とても上手に「盆踊り」でした。当日予定した分の撤収後、21時過ぎから大雨に見舞われましたが、無事開催できて良かったです。かにが沢のイベントは、相武台の商店会と緑ヶ丘地区および相武台地区の自治会で、実行委員会を構成して開催しています。



市民レクリエーション



10月6日（日）に緑ヶ丘地区自連主催の市民レクリエーション緑ヶ丘地区大会を谷戸山公園で開催しました。

スタート時は小雨がぱらついていましたが、途中から雨もやみ、無事開催することができました。参加者（申込数）は、202名と若干減少したもののほぼ昨年並みの規模での開催となりました。

ゆるゆるウォーキングの後には、O×クイズも実施。また、サンドラッグ様

による血管年齢などの測定や、地区社協による車椅子体験、JAさがみによる販売なども実施しました。参加された皆さんには、持ちきれないほどの参加賞と賞品を持って帰っていただきました。

ふれあい交流会

11月9日（土）市民健康センターで、緑ヶ丘地区社協主催の第20回ふれあい交流会を開催しました。

2部構成で、約50名が参加しました。第1部は、ギター演奏・歌のお楽しみとして、「マナカマサ」さんが登場し、みんなが知っている曲を披露していただきました。参加者も交えて合唱を行いました。お二人の素敵な歌声と参加者の歌声が会場内に響き渡り、とても心地の良いひと時となりました。

第2部は、健康づくり・脳と体の体操として、塚田さんが登場し、参加者全員で認知症予防プログラム「コグニサイズ」（コグニション〔認知〕＋エクササイズ〔運動〕）を行いました。指と腕を左右同時に別の形にする運動をしたり、簡単な計算に合わせて手をたたく運動をしたり、リズムに合わせて決められたポーズの運動など、脳に刺激を与えながら、体も温まりました。

最後は、お弁当を受け取って解散。あっという間の半日でした。



座間中学校避難所開設訓練

11月10日、緑ヶ丘地区自連主体の座間中学校避難所運営委員会主催の避難所開設訓練を開催しました。座間中学校を避難所としているのは、緑ヶ丘地区自連に属する自治会と明王、上谷戸、中谷戸、相武台（一部）の11自治会。災害時は地区外も受け入れます。

当日は50名ほどが参加し、グラウンドに各自治会ごとに集合。体育館入口で避難者名簿を記入後、3グループに分かれて、救護室、福祉避難室、食料保管室等避難時に必要とされる場所や、屋外に設置したマンホール上のトイレ、グラウンドの車中避難者用のスペースの見学をしました。体育館脇には炊事炊き出し場もあり、避難所としての機能が整っています。

生活エリアの体育館では参加者全員で生活用テントの組立を行いました。テントは2m×2mの大きさとポール2本で立ち上がる簡単な作りです。大人なら2名、子どもなら3名が入れるスペースです。体育館では、このテントを104張設置することになります。

災害時には可能な限り自宅避難を推奨しています。参加者には親子連れもいて熱心に訓練していました。



年が明けて1月12日には、かにが沢公園にて恒例のどんど焼きを開催します。どんど焼きは、緑ヶ丘地区自連と地区社協とで実行委員会を構成し開催するものです。